平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業ｺｰﾄﾞ	事業名
一般	07	01	02	174020	**中小企業振興融資事業**

総合計画			
	分野	しごと	
	政策	1-2	工業の振興
	施策	1	技術力・経営力の向上

目的	地場企業の経営安定
対象	市内中小企業者
意図	資金調達を支援し経営安定を図る

事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○中小企業振興融資 500,000千円
　中小企業の円滑な事業資金の調達を支援するため、融資原資を金融機関に預託し融資枠を設定
　預託金 500,000千円（貸付総枠 5,000,000千円：協調倍率10倍）
○中小企業振興融資利子・保証料補給 37,411千円
　中小企業の経営基盤の安定のため、融資にかかる利子の一部と保証料全額を補給
○中小企業震災融資支援事業 65,170千円
　東日本大震災により著しい被害を受けた市内中小企業者に対し、利子の一部と保証料全額を補助

市民参画の有無 〔 対象外 〕

市民協働の形態					
	共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定
	後援・協賛	○	補助・助成		委託

	活動指標 （上記「事業概要」に対応）	単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	**預託額**	千円	計画	600,000	500,000	
			実績	500,000	500,000	
②	**融資残高**	千円	計画	6,000,000	5,000,000	
			実績	2,037,400	1,926,287	
③			計画			
			実績			

	成果指標 （上記「意図」に対応）	単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	**中小企業振興融資新規融資実行件数**	件	目標	210	150	
			実績	149	172	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			

成果指標の達成度	○	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析
（新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載）

震災融資の新規実行を平成26年度をもって終了したことの影響もあり、融資件数（H25:116件、H26:147件、H27:149、H28:172件）が増加傾向にある。

区分	評価項目	選択	内容	説明
目的妥当性	**公共関与の妥当性**	○	妥当である	中小企業者へ事業資金に融資を円滑に行う制度であり、現下の経済情勢にあっては経営の安定に欠かせない制度である
			見直し余地がある	
			妥当でない	
有効性	**成果の向上余地**	○	向上余地がある	県の保証協会のモデル要綱に沿って毎年経済状況を勘案し、独自の制度設計をしており、今後も限度額、貸付期間等を利用しやすい条件となるように努める
			向上余地がない	
効率性	**事業費・人件費の削減余地**		事業費の削減余地がある	事業費については、資金需要から適正な預託額となるように努めており、削減の余地はない
			人件費の削減余地がある	
		○	どちらも削減余地がない	
公平性	**受益と負担の適正化余地**		受益機会の見直し余地がある	当該事業の対象条件に合致する事業者であれば、平等に融資を受けることが可能であることから、受益機会は適正である
			費用負担の見直し余地がある	
		○	適正である	

総合評価 …上記評価結果の総括

　中小企業振興融資の新規貸付件数172件のうち、設備投資が62件（H27対比 4件増）で、融資額は、252,350千円（H27対比 20,680千円増）となっており、設備投資による経営の安定化が図られている状態にある。

平成 28 年度 事業説明資料　　　【 事後評価 】

担当部署　部名 商工観光部　課名 商工労政課　担当係長 藤原啓昭　内線 389

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業ｺｰﾄﾞ	事業名
一般	07	01	02	174020	**中小企業振興融資事業**

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		633,977	602,581		△ 31,396
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他	500,000	500,000		
	一般財源	133,977	102,581		△ 31,396

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	〔平成　　年度　～　平成　　年度〕

部重点施策における目標

資金需要に応じた融資制度の運用

事業開始の背景・経緯

市内の中小企業者に対し、円滑な事業資金の調達を支援することにより、中小企業の育成を図ることを目的に実施している。

事業概要

○中小企業振興融資　500,000千円
　中小企業の円滑な事業資金の調達を支援するため、融資原資を金融機関に預託し融資枠を設定
　預託金　500,000千円（貸付総枠　5,000,000千円：協調倍率10倍）
○中小企業振興融資利子・保証料補給　37,411千円
　中小企業の経営基盤の安定のため、融資にかかる利子の一部と保証料全額を補給
○中小企業震災融資支援事業　65,170千円
　東日本大震災により著しい被害を受けた市内中小企業者に対し、利子の一部と保証料全額を補助

事業を展開する上での課題、留意事項　／　意見・要望等

引き続き、中小企業者、金融機関と情報交換を蜜にしながら本事業を実施していく

（単位：千円）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は１文章程度にとどめること。】

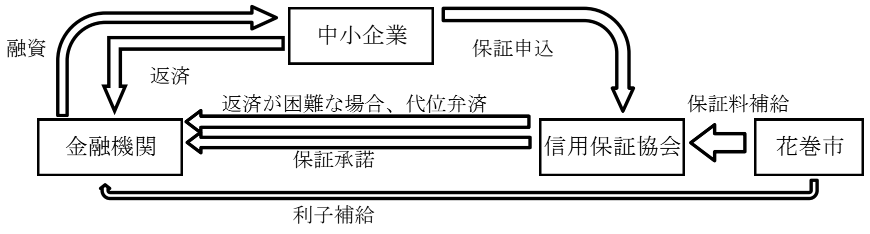
① 中小企業振興融資事業　　500,000　千円
中小企業の資金需要に応えるため、融資原資を金融機関に預託し、円滑な事業資金の調達を支援する。
《内容》協調倍率 10倍
取扱先：岩手銀行、東北銀行、北日本銀行、花巻信用金庫、花巻農協

資金の種類	融資限度額	貸付期間	貸付利率	利子補給	保証料
運転資金	37,500	7年（据置1年）	3年以内	3年以内	
設備資金	37,500	10年（〃1年）	2.7%	0.8%	全額
開業資金	16,000	7･10年（〃1年）	3年超	3年超	0.45%～
経営安定資金	25,000	10年（〃1年）	2.9%	0.9%	1.70%
特産品開発	12,500	7･10年（〃1年）		全額	

単位：千円

H26末	H27末			H28末		
残高	新規貸付	返済額	残高	新規貸付	返済額	残高
2,300,905	551,690	817,195	2,037,400	836,872	947,985	1,926,287

② 中小企業振興融資利子・保証料補給事業　37,411　千円
中小企業の経営基盤安定を支援するため、融資にかかる利子及び信用保証料を補助する。
《内容》　中小企業振興融資利子補給補助金　17,725　千円
　　　　　中小企業振興融資保証料補給補助金　19,297　千円
《他経費》利子補給計算業務委託料　389　千円



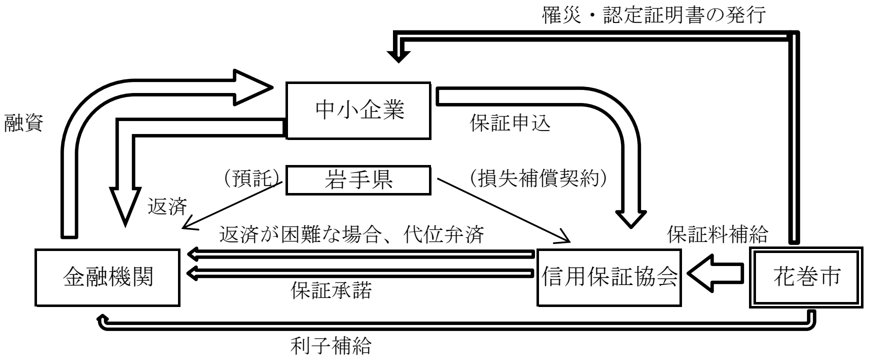
平成 28 年度事業説明資料　　【　事後評価　】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業ｺｰﾄﾞ	事業名
一般	07	01	02	174020	**中小企業振興融資事業**

（単位：千円）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること　【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は１文章程度にとどめること。】

③ 中小企業震災融資支援事業　65,170　千円
東日本大震災により著しい被害を受けた市内中小企業者に対し、利子および信用保証料を補給する。
　○利子補給補助金　59,267　千円
　○保証料補給補助金　5,903　千円

区分	資金使途	融資限度額	貸付期間	貸付利率	利子補給	保証料
県制度	運転・設備	80,000千円	15年（据置3年）	10年以内 1.5%	なし	「罹災証明書」の発行を受けた方について全額
市の補助対象		上記のうち、20,000千円を限度として利子・保証料の補給を行う。		10年超15年以内 1.7%	3年に限り全額	「認定証明書」の発行を受けた方に対して全額